慶應義塾大学ロジックモデル 「実学（サイエンス）によって地球社会の持続可能性を高める」

グローバル大学として持続可能社会に貢献

インプット

SGU予算

補助金　**自主財源**

物品費
・短期留学などのプログラム、留学フェア・シンポジウムなどのイベント、組織、研究拠点、連携・交流制度など大学紹介広報媒体の制作費

人件費
・テニュアトラック外国人教員
・国際プログラムコーディネータ教員
・留学生向け日本語科目担当教員
・短期プログラム担当教員
・博士課程学生海外副指導教授
・国際化対応職員

謝金
・海外副指導教授学生指導謝金

旅費
・交流協定・ダブルディグリーなど新たな連携調整のための出張費
・留学フェア出張旅費
・協定校訪問旅費
・国際会議出張費
・海外研究者招へい旅費

その他
・短期留学プログラム実施費用
・シンポジウム実施費用
・留学フェア実施費用

SGU事業基金

アクティビティ

・グローバルアドバイザリーカウンシル（Global Advisory Council, GAC）の設置
・大学ガバナンスの強化のための組織改編：
- グローバル本部（Global Engagement Office）設置 によるIR機能と国際広報機能の強化
- 協生環境推進室設置による多様性を認める学内環境の整備

・クロス・アポイントメント制度による海外副指導教授の雇用
・テニュアトラック制度による外国人教員の雇用
・慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（Keio University Global Research Institute, KGRI）における「長寿」「安全」「創造」の３クラスター での教育研究活動
・国際共著論文執筆補助
・海外での研究発表等の支援
・海外大学との研究連携
・海外研究連携拠点の設置

・交換留学協定枠の拡充
・短期プログラムの実施（派遣・受入）
・交換留学協定校数の拡大
・全学部研究科共通英語によるプログラム（Global Interdisciplinary Courses, GIC）の創設
・英語による学位コースの開設
・学事システムの国際化対応
・シラバスの英語化
・GPA・ナンバリング制度の構築

・英文ウェブサイトのリニューアル
・国際広報（海外向けの英語による教育研究情報の発信）
・海外での日本留学フェア参加・主催
・国際会議・シンポジウム・セミナーの主催・共催

・事務職員研修
- グローバル化に関する学内研修
- 中期国外研修・語学研修（シドニー大学）
- レピュテーションマネジメント研修（World 100 Academy）
- ブリティッシュ・カウンシル研修（英国大学訪問）

・SGU事業終了後の自走化の裏づけとなる基金の設置

アウトプット

現状分析および福澤理念に基づくグローバル化

・事業計画における国際項目重点化

・SGUに対応した組織の再編

・世界の研究大学学長からみた現状把握と政策決定へのインプット

・教職員に占める女性の比率の増加
・外国人および外国の大学で学位を取得した教職員の増加
・海外副指導教授の雇用増加
・事務職員の英語力・業務知識向上

・海外研究連携拠点の増設

・KGRI各クラスターでのセミナー、シンポジウム、海外キャラバン実施

・日本人派遣学生の増加
・外国人受入留学生の増加
・英語による授業科目（GICプログラム） の増加
・ダブルディグリープログラムの増設
・海外協定大学との「長寿」をテーマとする英語による合同遠隔科目開設
・学生の語学力向上
・シラバスの英語化率の向上
・GPA・ナンバリングの実施

・混住型学生宿舎の増設

・大学・KGRI英文ウェブサイトリニューアル
・学内事務文書翻訳チーム（Keio Translation)運営による英語広報の増加・質の向上

・日本留学フェア主催・参加
・国際会議・シンポジウム・セミナー実施
・オリンピック・パラリンピック英国代表チームのホスト

・SGU事業基金への組み入れ

初期アウトカム

ガバナンス
・グローバルな視点を取り入れた事業計画策定
・グローバル本部設置による学内国際業務の一本化ならびにIR・国際広報機能強化
→ 世界大学ランキング対応
・協生環境推進室設置によるインクルーシブな環境整備 → SDGs対応

組織
・人事システムの柔軟な運用
→ クロス・アポイントメント制度による海外副指導教授雇用
・事務職員の高度化
→ 研修による国際業務対応能力の向上

教育・研究
・KGRIをSGU事業目標実現のための中核拠点として「長寿」「安全」「創造」の３つのクラスターにおける国際的な文理融合研究（クラスタープロジェクト）を遂行
→長寿：APRU 人口高齢化ハブ
→安全：変革期の安全保障と統治構造
→創造：人工知能活用プロジェクト
→３クラスター横断プロジェクト：サイバー文明研究センター
・2019 QS世界大学ランキング（分野別）
生理学・解剖学 **36位**
歴史学 **51-100位**
政治学・国際関係学 **51-100位**
社会科学・経営学 **82位**
・学生の流動化促進
→ 交換・短期プログラム拡充
→ 学事システムの国際化対応
→ シラバスの英語化
→ GPA・ナンバリング制度の構築
→ ダブルディグリープログラム増設

国際広報・レピュテーションマネジメント
・英語による情報発信量の増加と質の向上
・国際的プレゼンスの向上

財政
・補助事業終了後の自走化財政基盤確立

中・長期アウトカム→インパクト

世界トップ研究大学へ

総合研究力（医薬・理工・社会・人文科学）を活かした産学連携・国際共同研究

超成熟社会の課題解決・SDGs達成に向けた研究・教育連携

学内環境整備・オリンピック・パラリンピックの活用

GULF　APRU　APAIE　CEMS　T.I.M.E.　RU11

▲国内外　大学コンソーシアム

21COE・GCOE　リーディング大学院　世界展開力　研究大学強化促進　オープンイノベーション

▲文部科学省補助事業

国際性を培い課題解決力と研究力を養う教育

一貫教育（小・中・高・大・院）
多種多様な国際プログラム

ガバナンス　人材高度化　卒業生ネットワーク
国際広報　レピュテーションマネジメント　自主財政基盤

福澤理念
「独立自尊」「半学半教」「自我作古」

Keio University

TOP GLOBAL UNIVERSITY PROJECT

Keio Global Initiatives

Longevity, Security, Creativity